

## 「現地を訪問して想うこと」

1983年 理工学部卒  
ツアー参加者氏名：尾崎 一裕

今年、幸いなことに、東北応援ツアーに当選し、A 岩手県コースに参加することができました。

不謹慎な話ですが、私は学生時代、旅、が好きでした。東北にも約1ヶ月間ふらついていました。豊富な自然、豊かな海の幸、山の幸、地元の方同士が話をしていると外国語のように感じる素朴な方言、歴史や民話、ひとつひとつが東北の魅力になっています。

今回、新花巻駅前に着くと、青空とともに紅葉が出迎えてくれました。日頃、仕事に忙



しい思いをしていましたが、とても開放感にあふれた瞬間でした。これから、学生時代から好きだった土地を、見ず知ずの校友とともに、被災地の訪問をして行くことに対して、様々な思いに輪をかける風景でもありました。

私は、生まれも育ちも静岡県富士市（旧富士川町）です。小学校の頃から、今に東海地震が来る、来る！！と、脅されて！？！育ってきましたので、物資の備えが十分にされているとは思えませんが、気持ちの上では、十分に（？）覚悟のできている地域で育ったつもりです。皮肉なことに、その東海地震は未だにおきず、日本や、世界各地に、大規模な地震が起きつづけています。各地の地震を見るたびに、改めて地震の備えを振り返り、足りないものを補充してきたつもりでした。

そんな中、2011年3.11は訪れたのです。特に、あの津波の映像には、恐怖に戦慄しました。ちょうどその年、私は地域の福祉委員となり、3月11日には地域全体での福祉委員の集まりに出向いている所でした。15:46ごろ、会合に疲れ始め、話をほおづえをつきながら聞いていた時、その腕を伝わって揺れを感じたのです。感じ始めたと思った直後には、明らかに地震と分かる揺れが始まり、しかも最近には無い大きさに揺れ始めたのです。それが数分間続き、こんなに長い地震は経験したことが無い！と思う程続きました。その揺れが東北沖での地震だと知ったとき、あんな遠くの地震がこんなに揺れるのかという驚きは強烈なものでした。

そんな大きな怖さを体験したことで、その年に防災ボランティア講習会を受講し、ボランティアコーディネーターと言う団体にも所属することにしたのです。

今回、約2年半経過して初めて現地を訪れることができました。

訪れてみて初めて、あの地震のスゴさを感覚で触れることができ、あの映像を過去のものとして、忘れていた自分に気づくことができました。

なかなか復興が進んでいないと言う話も聞いてはいましたが、現実を見ると、実際にはショベルカーや、ダンプが沢山動いてはいますが、地震前の風景と比較したとき、地元の人々の無念さがしみ込んでくる気がしました。

この写真では、明らかに風景が変わってしまったことが分かります。



次の写真は陸前高田駅前のロータリーと商店街のあった所です。

この風景の中において、無力感をどう処理しているのか？進まない復興に対して、政府・行政に対して、どんな気持ちを抱いているのか？しかし、報道で伝わってくる情報からは、被災者の方の前向きな姿勢を多く感じていましたから、そのギャップの処理に感情がつい



て行きませんでした。

誤解の無いように、写真も載せますが、復興をしていない訳ではありません。この写真以上に多くの重機がせわしなく動いています。しかしそれ以上に悲惨な状態を残したままに

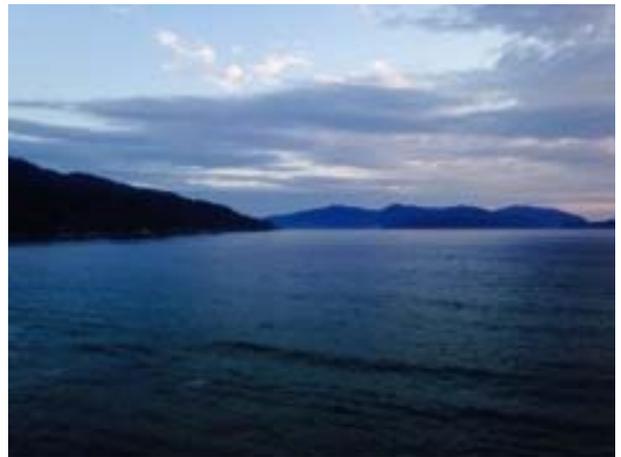


なっている（意図的に残している）

復興が進んでいる状況の一つとして、新しいアグリビジネスの施設も稼働していました。車窓からで分かりにくいですが、円形のドーム状のハウスの中に丸い水耕栽培のプールがあって、中心から回りながら野菜が約一ヶ月掛けて育ち、最後は外周まで来て収穫するという施設です。



今回宿泊させて頂いたのは、大槌町の校友が経営する「三陸花ホテル はまぎく」さんです。食事がおいしく、太平洋に面していて朝日がとても綺麗でした。海岸に近いですが、館内の避難誘導には、地震用の表示があります。周りを散策してみました所、この辺りも津波はあったようですが、ホテルの避難所の高さには津波は



こないそうです。

皆様も、安心してご利用して頂きたいものです。



二日目、内陸で、津波の影響を全く受けなかった、遠野市へやってきました。ここでは今も続く防災ボランティアセンターを見学させて頂いた後、遠野伝承園へいきました。

学生時代も、柳田邦男の遠野物語を読んだ上で、遠野に訪れました。さすがに、新幹線も開通していますから、遠野市も民話の世界より、現代に近くなっています。伝承園の中



は、今も遠野物語の世界が生きている感じで、ひょっこり、座敷童がでてきそうです。

語り部の民話に耳を傾け、山の幸に舌鼓を打ち、お蚕さんや、ホップ畑、カップパ淵を楽しませて頂きました。

遠野を始め、地震での被害が比較的少なかった観光地に訪れる観光客は未だに戻っていないそうです。東北には、歴史的にも、風景も、すばらしい所が沢山あります。社会人に



なってから、時間の自由は利きにくくなってきて、子育てにお金がかかりますから、金銭的な余裕も無くなってきますが、人生を豊かに生きて行く上においては、たまには遠くの観光に訪れ、時間や空間の束縛から外れることはすばらしく、嬉しいことです。

11月の頭なのに、またまだ暑かったので、ソフトクリームを食べました。左は、柿のソフトクリーム！！柿の舌触りがして、おいしかったです！右は、わさびソフトクリーム他の校友の皆様から「下手物好きだ！」と言われましたが、実は、わさびソフトは各地にあって、静岡にもあります。静岡のわさびソフトと比べると、わさびの量が多いのか、爽やかな辛さの度合いが強く感じました。もちろん、ソフトクリームですから、基本は甘くておいしいですよ！！！！

旅好きな私にとって、大好きな東北！！あれだけの震災があつて、その後の復興がなかなか進んでいない中でも、精一杯生きている人々！！！！尊敬するとともに、応援したいものです。東北で行きたい所は、まだまだ沢山あります。機会を作るのが難しい状況ではありますが、また訪れたいものです。

